

## 8 アフリカ地域

アフリカは豊富な天然資源と約13億の人口を背景に、大きなポテンシャルを有する大陸です。一方、貧困、脆弱な保健システム、テロ・暴力的過激主義の台頭など、様々な課題にも直面しています。こうした課題に対応するため、アフリカ諸国は、アフリカ自身の新たな開発アジェンダである「アジェンダ2063」<sup>注23</sup>に基づき、持続可能な開発に取り組んでいます。日本はアフリカ開発会議（TICAD）<sup>ティカッド</sup>解説などを通じて、長年にわたり、アフリカの発展に貢献しています。

### 日本の取組

新型コロナウイルス感染症は、アフリカにおいても経済・社会に深刻な影響をもたらしています。日本は、新型コロナの感染拡大を防ぐとともに、経済・社会への影響に対処するため、アフリカ諸国に対し、コールド・チェーン<sup>注24</sup>整備のための保健・医療機材等の供与を含め、二国間および国際機関を通じて様々な支援を展開しています。また、2021年12月、岸田総理大臣は、アフリカに対し1,000万回分を目処としたワクチンを供与する意向を表明しました。

日本は、2022年開催予定のTICAD8を見据え、コロナ禍で浮き彫りとなったアフリカの様々な開発課題に積極的に取り組んでいます（マラウイでの無収水対策およびカメルーンでの住民主体の森林資源管理共創のための共同研究について、62ページおよび135ページの「匠の技術、世界へ」を、ICT技術を駆使したアフリカの農業強靱化<sup>きょうじん</sup>の取組およびガーナでの児童労働フリーゾーン構築のための取組について、133ページおよび67ページの「案件紹介」を参照）。

### 経済

質の高い成長の実現のため、ABEイニシアティブ3.0<sup>注25</sup>などを通じて、ビジネスの推進に役立つ産業人材の育成を行っており、JICAを通じてアフリカの若者約1,600人に研修の機会を提供しています

（ABEイニシアティブ元留学生の活躍については10ページも参照）。また、連結性の強化に向け、3重点地域<sup>注26</sup>を中心とした質の高いインフラ投資の推進にも取り組んでいます（日本の具体的取組については、第I部1（1）産業基盤整備・産業育成、経済政策および（4）職業訓練・産業人材育成、雇用創出も参照。ルワンダ・タンザニア間の道路改良計画・国境手続き円滑化の日本の支援については、120ページの「国際協力の現場から」を参照）。



ナイジェリア北東部において職業訓練を受ける国内避難民女性（写真：UNHCR）

### 社会

TICAD7において表明した、UHCの拡大に向けた取組を一層推進していくため、日本は、300万人の基礎医療アクセスや衛生環境を改善し、健康保険の普及を進めるための取組を実施しています。日本は、ケニアにおける「UHCの達成のための保健セクター政策借款（フェーズ2）」や、ガーナにおける「栄養改善のための持続可能なシステムを通じたユニバーサル『栄養』ヘルス・カバレッジ計画（WFP連携）」等を通じて、UHCの推進に貢献しています（日本の具体的取組については、第II部3地球規模課題への取組と人間の安全保障の推進も参照。ザンビアでの病院整備およびストップ結核パートナーシップによるアフリカ30か国での取組について、57ページおよび58ページの「案件紹介」も参照）。

四半世紀を超える歴史を誇るTICADにおいて、長年、保健を重点分野として位置づけ、アフリカの保健・医療体制を支えるための様々な協力を積み重ねてきました。日本のこれまでの支援は、コロナ禍におい

注23 「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択された2015年、アフリカ連合（AU）首脳会合において採択。

注24 2ページの注1を参照。

注25 39ページの用語解説を参照。

注26 東アフリカ・北部回廊、ナカラ回廊、西アフリカ成長の環にわたる3地域。

て真価を発揮しています（日本が支援しているガボンの研究機関のコロナ禍での活躍について10ページも参照）。日本としては、長年にわたる取組の成果に立脚し、今後ともアフリカの保健分野における国際的な連携の強化に主導的な役割を果たしていく考えです。

また、日本は、理数科教育の拡充や学習環境の改善により、300万人の子どもたちに質の高い教育を提供すべく取組を進めています。



日本が支援する「みんなの学校」プロジェクトで給食を配膳するマダガスカルのパンテックボランティア（写真：JICA）。

## ■平和と安定

日本は、TICAD7の際に提唱した「アフリカの平和と安定に向けた新たなアプローチ（NAPSA）」<sup>解説</sup>のもと、アフリカ主導の紛争解決努力を支援するとともに、紛争やテロなどの根本原因にアプローチすべく、制度構築などの支援を行っています。その一環として、2008年以降、アフリカ15か国内のPKO訓練センター等が裨益するプロジェクトに対し1.1億ドル以上の支援を行い、約60名の日本人講師を派遣し、施設の訓練能力強化や研修の実施などを支援しています。

2020年にエチオピア北部において発生した武力衝突により発生した多数の死傷者および避難民に対し、日本は、2021年2月に、同国ティグライ州の国内避難民等に対する支援として、660万ドル（7億2,600万円）の緊急無償資金協力を決定し、WFP、IOM、UNICEF、UNHCR、国連人道問題調整事務所（OCHA）、赤十字国際委員会（ICRC）を通じ、医療分野への支援、食料や衛生用品等の援助物資の供与等の支援を実施しました。さらに、12月にも、1,240万ドル（約13億3,920万円）の緊急無償資金協力として、UNHCR、WFP、IOMおよび国連地雷対策サービス部（UNMAS）を通じ、同国北部アファール州、アムハラ州およびティグライ州の国内避難民等に対し、生活必需品や食料の供与等の支援を実施するこ

とを決定しました。

サヘル地域においては、NAPSAの下、サヘル諸国の行政制度の脆弱性に焦点を当てながら、治安維持能力強化に繋がる機材の提供、制度構築に携わる人材育成、若者の職業訓練・教育機会の提供、PKO人材の育成強化に加え、難民・国内避難民・ホストコミュニティへの支援の継続を通じて、同地域の平和と安定に貢献しています。

数年前から情勢が不安定化していたモザンビークのカーボデルガード州では、2021年夏以降、南部アフリカ開発共同体（SADC）およびルワンダ治安部隊がテロ掃討作戦に従事しており、治安が改善しつつあります。日本は、モザンビーク政府が同州で抱えている課題である麻薬密輸および違法漁業の取締の強化のため、2021年8月に巡視艇供与に関する無償資金協力に係る交換公文の署名・交換を実施しました。また、2021年もWFPを通じた食糧援助を実施し、脆弱な状況にある避難民に対する人道支援を継続しています（モザンビークで活躍する国際機関日本人職員について、12ページおよび13ページを参照）。

南スーダンにおいて日本は、2011年の独立以来、同国の国づくりを支援しています。2011年11月以降、国連南スーダン共和国ミッション（UNMISS）に、防衛省・自衛隊から、司令部要員および施設部隊を派遣してきました（施設部隊については2017年5月末をもって活動を終了）。

日本は、東アフリカの地域機構である「政府間開発機構（IGAD）」等を通じて、南スーダン自身のイニシアティブである和平プロセスへの支援も行っており、インフラ整備や人材育成支援、食糧援助などの支援と並んで、南スーダンにおける平和の定着と経済の安定化に大きな役割を果たしています。

また、国民の融和、友好と結束を促進するため、南



日本から南スーダンに帰国した選手たちの様子

スーダン文化・青年・スポーツ省による国民体育大会「国民結束の日」の開催への支援を、第1回大会(2016年)から毎年行っています。同大会に参加経験のある4名の選手は、東京オリンピック競技大会出場を目指して前橋市で長期事前合宿を行い、うち2名

が東京オリンピック陸上競技の出場権を獲得しました。逆境をものともしない2名の力強い走りは、南スーダンおよび日本の国民に勇気と感動を与えました。4名の選手は、帰国後は、南スーダンで陸上競技の指導を行い、未来のアスリートの育成に努めています。



用語解説

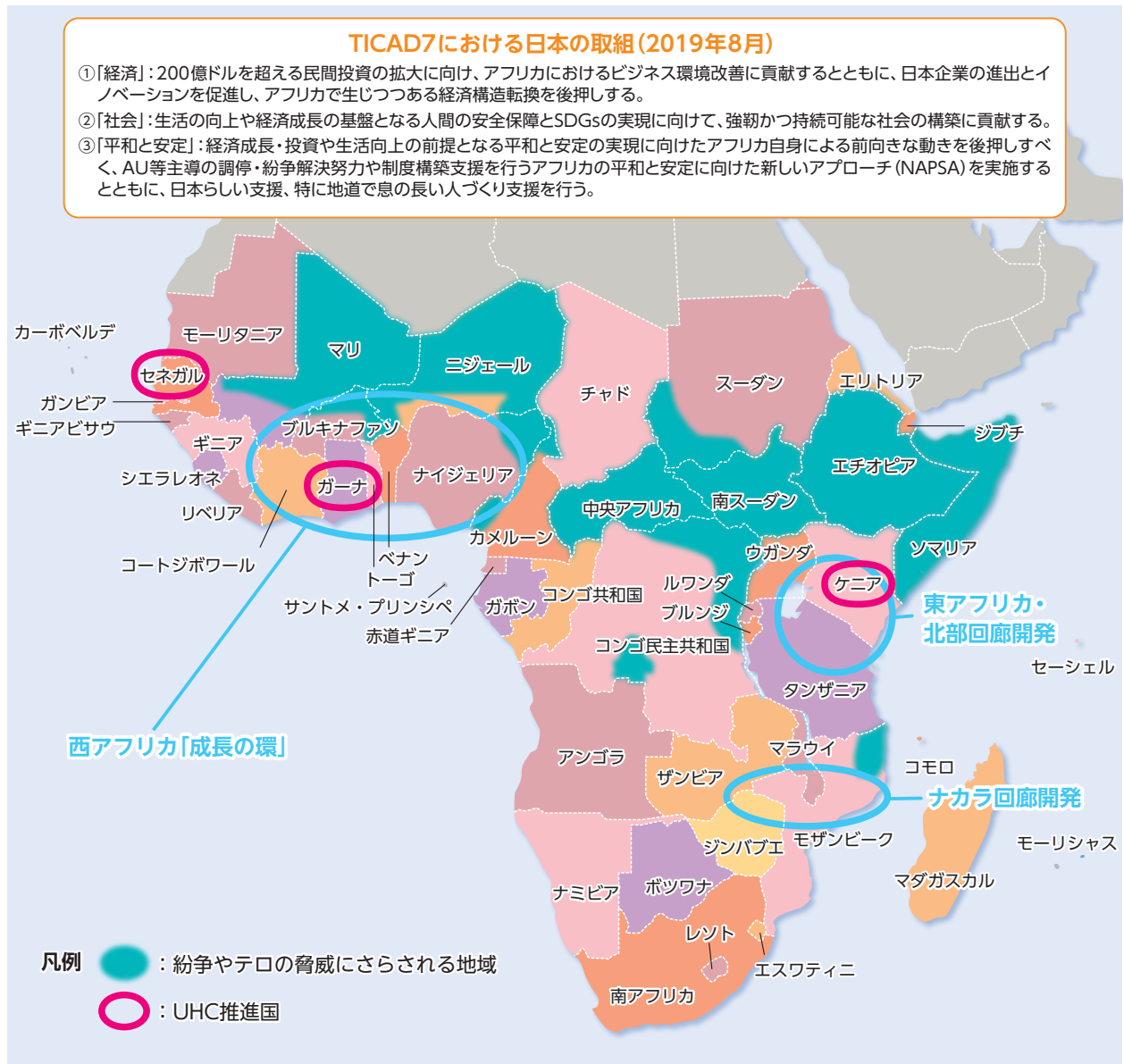
アフリカ開発会議 (TICAD) ティカッド

1993年に日本が立ち上げたアフリカ開発に関する首脳級の国際会議。国連、国連開発計画 (UNDP)、世界銀行、アフリカ連合委員会 (AUC) との共催により、アフリカ開発におけるアフリカ諸国の「オーナーシップ」と国際社会による「パートナーシップ」の理念を具現化するもの。2022年にTICAD8を開催予定。

アフリカの平和と安定に向けた新たなアプローチ (NAPSA : New Approach for Peace and Stability in Africa)

2019年8月に横浜で開催されたTICAD7において、日本が提唱した新たなアプローチ。アフリカのオーナーシップの尊重および紛争やテロなどの根本原因に対処するとの考えのもと、アフリカ連合 (AU) や地域経済共同体 (RECs) などによる紛争の予防、調停、仲介といったアフリカ主導の取組、制度構築・ガバナンス強化、若者の過激化防止対策や地域社会の強靱化に向けた支援を行うもの。

日本の開発協力の方針 アフリカ地域 (サブサハラ地域を含む) の重点分野



地域間の連結性を強化し、  
ルワンダと周辺国の物流を促進！



6 ～日本ならではの包括的な支援で東アフリカ全体の経済発展に貢献～

ルワンダは、1990年代前半の内戦終結以降、経済成長を続けています。一方で、道路交通インフラの老朽化と国境通関のコストが問題になっていました。ルワンダ東部に位置する交通ルートは、東アフリカ地域の主要な国際回廊<sup>注1</sup>の一部となっており、老朽化した橋梁や道路を改修し、国境管理能力を向上させることは、地域間の連結性の強化に繋がり、東アフリカ全体の経済発展を促進します。

日本は、2016年、約30年振りにルワンダに対する有償資金協力を再開し、アフリカ開発銀行（AfDB）との協調融資促進枠組みを活用して、有償資金協力「ルスモ-カコンザ区間道路改良事業」を開始しました。本事業は、中央回廊<sup>注2</sup>全体（208km）の道路改修・拡張を、ルワンダ政府、AfDB、欧州連合（EU）と協同で実施するもので、日本は、同国とタンザニアを結ぶルスモ-カコンザ区間（92km）の工事を支援し、更なる広域インフラの整備と物流インフラの改善を推進します。

日本はこれまでも、内陸国であるルワンダの陸路輸送の問題解決に取り組んできました。2011年に着工した無償資金協力「ルスモ国際橋及び国境手続円滑化施設整備計画」を通じて、タンザニアとの国境付近に架かるルスモ橋梁を新設し、安全な相互通行を可能にしました。また、同時にワンストップボーダーポスト（OSBP）<sup>注3</sup>施設を整備し、税関手続の円滑化を図ることで、両国間の輸送コストの低減、貿易・投資の拡大に寄与しました。

無償資金協力のコンサルタントとして工事を監督した亀田均氏は、2か国同時に進めるプロジェクトは一筋縄ではいかなかったと語ります。当時、ルワンダ



ルスモ国際橋の改修・拡幅工事の様子（写真：JICA）

とタンザニアとの関係は冷え込んでおり、「両国の理解と協力を得るために、双方の政府に根気強く説明したり、現地雇用



「ルスモ-カコンザ区間道路改良事業」E/N署名の様子（写真：JICA）

の作業員たちがそれぞれ自国の国内で作業ができるように配慮したりするなど、ひとつひとつ誠実に対応しました。」と振り返ります。事業後の評価によると、ルスモ国際橋の通関能力は施工前の約3倍に増えており、これに続く今回の有償資金協力によって、今まで行ってきた日本の支援がさらなる効果を発揮します。

また、日本は、2017年に開始した技術協力「東部アフリカ地域における貿易円滑化及び国境管理能力向上プロジェクト」を通じ、新たに導入されたOSBPの運用に必要な技術指導を行っています。同プロジェクトでは、世界税関機構（WCO）の専門家と連携し、東アフリカ共同体（EAC）<sup>注4</sup>の税関職員的能力強化を通じ、通関手続の効率化と国境取締の能力向上に努めました。

このように、有償資金協力、無償資金協力、そして技術協力という様々なスキームを連携させた包括的な支援は、日本の開発協力の強みと言えます。JICAアフリカ部の氏家十穂氏は、「AfDBとの協調融資やWCOと連携した技術協力は、大きなインパクトを与えています。ルワンダにおける複数の事業の成果が、東アフリカ全体の経済発展に寄与することを願っています。」と語ります。

注1 国や地域の経済活動の中心となる重要幹線道路。

注2 内陸国の貨物輸送を目的とした、ルワンダからタンザニアを経てダルエスサラーム港へ続く回廊。

注3 通常、出国側・入国側両方の税関でそれぞれ実施する必要がある輸出入の手続きを共有・統合し1回で済ませるようにすることで、国境を通過する物流を効率化する通関業務の運営方式。

注4 ブルンジ、ケニア、ルワンダ、タンザニア、ウガンダ、南スーダンの6カ国が加盟する経済共同体。

図表Ⅲ

## 二国間政府開発援助の地域別実績 (2020年)

2020年(暦年)

(単位:百万ドル)

順位	援助形態		二国間政府開発援助							
	国名 または地域名	贈与			計	政府貸付等		(A) - (B)	合計 (支出純額)	合計 (支出総額)
		無償資金 協力	国際機関 経由	技術協力		貸付実行額 (A)	回収額 (B)			
	<b>アジア地域合計</b>	<b>440.63</b>	<b>260.97</b>	<b>483.84</b>	<b>1,185.45</b>	<b>9,021.00</b>	<b>5,429.22</b>	<b>3,591.78</b>	<b>4,777.23</b>	<b>10,206.45</b>
	東アジア地域合計	305.37	107.71	301.87	714.95	4,459.05	3,772.64	686.41	1,401.36	5,174.00
	(ASEAN合計)*1	274.48	82.62	275.79	632.89	4,193.00	2,878.31	1,314.69	1,947.57	4,825.89
1	インドネシア	8.49	11.50	37.77	57.75	1,312.02	1,518.86	-206.84	-149.09	1,369.77
2	フィリピン	32.07	14.16	72.63	118.86	1,032.28	501.74	530.54	649.41	1,151.14
3	ミャンマー	71.89	31.39	47.10	150.39	943.13	-	943.13	1,093.52	1,093.52
4	ベトナム	25.25	5.19	43.66	74.10	546.33	545.24	1.09	75.18	620.42
5	モンゴル	19.19	2.09	15.74	37.02	261.54	35.44	226.10	263.12	298.56
6	カンボジア	87.29	10.69	22.21	120.19	151.04	11.11	139.94	260.13	271.23
7	タイ	1.29	3.49	24.26	29.05	191.50	204.71	-13.21	15.84	220.55
8	ラオス	48.09	4.02	20.56	72.66	16.70	5.84	10.87	83.53	89.37
9	東ティモール	7.47	0.99	6.20	14.67	4.50	-	4.50	19.17	19.17
10	マレーシア	0.09	2.20	7.55	9.84	-	90.82	-90.82	-80.98	9.84
11	中国	-	-	1.92	1.92	-	858.89	-858.89	-856.97	1.92
	東アジアの 複数国向け*2	4.23	22.00	2.23	28.45	-	-	-	28.45	28.45
	<b>南西アジア地域合計</b>	<b>95.73</b>	<b>79.06</b>	<b>154.78</b>	<b>329.57</b>	<b>4,134.77</b>	<b>1,485.03</b>	<b>2,649.74</b>	<b>2,979.30</b>	<b>4,464.34</b>
1	バングラデシュ	17.33	32.72	24.66	74.71	2,056.12	120.62	1,935.50	2,010.21	2,130.83
2	インド	6.58	5.97	81.51	94.06	1,713.68	1,115.92	597.77	691.82	1,807.74
3	スリランカ	24.42	8.02	11.41	43.85	253.51	213.58	39.94	83.79	297.36
4	ネパール	16.68	6.32	16.87	39.86	47.74	4.91	42.83	82.69	87.60
5	モルディブ	10.79	1.99	1.48	14.26	46.83	0.56	46.27	60.53	61.09
6	パキスタン	9.09	17.91	9.88	36.88	16.10	28.46	-12.36	24.52	52.98
7	ブータン	10.84	2.51	8.55	21.89	0.78	0.99	-0.21	21.68	22.68
	南西アジアの 複数国向け*3	-	3.63	0.43	4.06	-	-	-	4.06	4.06
	<b>中央アジア・ コーカサス地域合計</b>	<b>36.19</b>	<b>30.33</b>	<b>22.49</b>	<b>89.01</b>	<b>311.46</b>	<b>148.78</b>	<b>162.68</b>	<b>251.69</b>	<b>400.47</b>
1	ウズベキスタン	2.82	5.14	7.83	15.80	297.04	41.67	255.37	271.17	312.83
2	タジキスタン	22.09	0.31	4.26	26.66	-	-	-	26.66	26.66
3	キルギス	6.11	9.53	6.75	22.39	0.33	9.86	-9.53	12.86	22.72
4	アゼルバイジャン	0.53	-	0.28	0.81	12.84	33.90	-21.05	-20.24	13.65
5	ジョージア	3.34	-	0.45	3.79	1.25	8.12	-6.87	-3.07	5.04
6	アルメニア	0.99	-	0.93	1.91	-	10.51	-10.51	-8.60	1.91
7	カザフスタン	0.31	-	1.15	1.46	-	42.68	-42.68	-41.22	1.46
8	トルクメニスタン	-	-	0.27	0.27	-	2.05	-2.05	-1.78	0.27
	中央アジア・ コーカサスの 複数国向け	-	15.34	0.58	15.93	-	-	-	15.93	15.93
	アジアの複数国向け*4	3.35	43.88	4.70	51.92	115.73	22.77	92.95	144.88	167.65
	<b>大洋州地域合計</b>	<b>123.46</b>	<b>10.75</b>	<b>32.76</b>	<b>166.97</b>	<b>162.14</b>	<b>10.72</b>	<b>151.42</b>	<b>318.39</b>	<b>329.11</b>
1	バブアニューギニア	22.14	1.16	6.76	30.06	96.62	8.63	88.00	118.06	126.69
2	フィジー	14.85	0.59	5.73	21.17	20.14	1.14	19.00	40.17	41.31
3	パラオ	12.61	3.78	1.23	17.63	15.48	-	15.48	33.10	33.10
4	トンガ	16.58	0.08	0.96	17.63	-	-	-	17.63	17.63
5	ソロモン	9.50	0.39	3.61	13.51	-	-	-	13.51	13.51
6	マーシャル	11.48	0.09	0.99	12.56	-	-	-	12.56	12.56

順位	援助形態 国名 または地域名	二国間政府開発援助								
		贈 与			計	政府貸付等		(A) - (B)	合計 (支出純額)	合計 (支出総額)
		無償資金 協力	国際機関 経由	技術協力		貸付実行額 (A)	回収額 (B)			
7	キリバス	11.92	0.18	0.40	12.50	-	-	-	12.50	12.50
8	バヌアツ	6.36	0.38	3.23	9.97	-	0.02	-0.02	9.95	9.97
9	サモア	7.38	0.18	1.97	9.52	-	0.93	-0.93	8.59	9.52
10	ミクロネシア連邦	5.43	0.16	1.95	7.53	-	-	-	7.53	7.53
11	ナウル	2.19	0.03	0.04	2.26	-	-	-	2.26	2.26
12	ツバル	1.95	0.02	0.06	2.04	-	-	-	2.04	2.04
13	ニウエ	0.12	0.02	0.03	0.17	-	-	-	0.17	0.17
14	[トケラウ]	-	-	0.00	0.00	-	-	-	0.00	0.00
	大洋州の 複数国向け	0.53	3.62	5.76	9.91	29.90	-	29.90	39.80	39.80
	<b>中南米地域合計</b>	<b>105.27</b>	<b>28.77</b>	<b>92.72</b>	<b>226.76</b>	<b>417.51</b>	<b>253.31</b>	<b>164.21</b>	<b>390.97</b>	<b>644.28</b>
1	ブラジル	5.43	0.82	8.29	14.54	142.82	84.62	58.19	72.73	157.36
2	メキシコ	7.52	0.09	5.17	12.78	100.00	-	100.00	112.78	112.78
3	エルサルバドル	0.45	4.68	3.70	8.83	53.92	21.04	32.88	41.71	62.76
4	パラグアイ	0.11	-	4.59	4.70	48.74	41.48	7.26	11.96	53.44
5	グアテマラ	2.89	-	3.24	6.13	35.87	14.58	21.29	27.42	42.00
6	ハイチ	17.17	6.76	1.77	25.71	-	-	-	25.71	25.71
7	ペルー	0.38	-	6.65	7.03	14.04	49.23	-35.18	-28.16	21.07
8	パナマ	5.80	-	13.46	19.26	-	9.80	-9.80	9.46	19.26
9	ホンジュラス	11.40	0.10	3.23	14.73	0.69	-	0.69	15.42	15.42
10	ボリビア	8.90	-	4.13	13.03	1.82	-	1.82	14.85	14.85
11	コスタリカ	0.05	-	1.92	1.97	12.51	16.82	-4.31	-2.34	14.48
12	キューバ	6.58	0.17	3.57	10.32	-	-	-	10.32	10.32
13	ガイアナ	9.70	-	0.19	9.90	-	-	-	9.90	9.90
14	コロンビア	5.59	-	2.74	8.33	-	-	-	8.33	8.33
15	ドミニカ共和国	3.30	-	4.72	8.02	-	4.03	-4.03	4.00	8.02
16	ジャマイカ	5.69	-	1.28	6.97	-	4.75	-4.75	2.22	6.97
17	エクアドル	2.02	-	4.05	6.07	-	4.63	-4.63	1.44	6.07
18	ニカラグア	2.08	-	3.24	5.32	0.45	-	0.45	5.77	5.77
19	アルゼンチン	0.22	-	2.91	3.13	-	1.17	-1.17	1.96	3.13
20	グレナダ	1.87	-	0.01	1.88	-	-	-	1.88	1.88
21	セントルシア	0.15	-	1.10	1.24	-	-	-	1.24	1.24
22	ベリーズ	0.21	-	0.70	0.91	-	-	-	0.91	0.91
23	ドミニカ国	0.47	-	0.17	0.64	-	-	-	0.64	0.64
24	セントビンセント	-	-	0.45	0.45	-	-	-	0.45	0.45
25	ベネズエラ	0.18	-	0.13	0.31	-	-	-	0.31	0.31
26	アンティグア・ バーブーダ	0.09	-	0.05	0.15	-	-	-	0.15	0.15
27	スリナム	-	-	0.03	0.03	-	-	-	0.03	0.03
	中南米の 複数国向け	-	16.12	7.75	23.87	6.66	1.15	5.51	29.38	30.53
	<b>欧州地域合計</b>	<b>7.30</b>	<b>5.61</b>	<b>10.43</b>	<b>23.35</b>	<b>66.92</b>	<b>83.60</b>	<b>-16.69</b>	<b>6.66</b>	<b>90.26</b>
1	セルビア	1.00	-	2.15	3.15	44.94	1.27	43.67	46.82	48.09
2	ボスニア・ ヘルツェゴビナ	0.25	-	0.87	1.12	18.83	7.03	11.80	12.92	19.95
3	ウクライナ	0.78	4.31	2.98	8.07	0.47	15.18	-14.71	-6.64	8.54
4	コンボ	1.36	0.72	2.09	4.17	-	-	-	4.17	4.17
5	アルバニア	0.65	-	1.17	1.81	-	6.60	-6.60	-4.78	1.81
6	北マケドニア	1.32	-	0.09	1.41	-	4.90	-4.90	-3.49	1.41
7	モルドバ	0.72	-	0.55	1.26	-	-	-	1.26	1.26

順位	援助形態 国名 または地域名	二国間政府開発援助								
		贈 与			計	政府貸付等		(A) - (B)	合計 (支出純額)	合計 (支出総額)
		無償資金 協力	国際機関 経由	技術協力		貸付実行額 (A)	回収額 (B)			
8	モンテネグロ	0.94	—	0.09	1.03	—	—	—	1.03	1.03
9	ベラルーシ	0.29	—	0.00	0.29	—	—	—	0.29	0.29
	欧州の複数国向け*5	—	0.58	0.18	0.76	—	—	—	0.76	0.76
	<b>中東・北アフリカ 地域合計</b>	<b>76.09</b>	<b>424.43</b>	<b>58.00</b>	<b>558.52</b>	<b>1,377.29</b>	<b>784.46</b>	<b>592.82</b>	<b>1,151.35</b>	<b>1,935.81</b>
1	イラク	1.87	48.76	3.89	54.52	766.11	121.82	644.29	698.81	820.63
2	エジプト	12.44	6.49	15.74	34.67	276.50	219.11	57.39	92.06	311.17
3	ヨルダン	26.93	21.24	5.36	53.54	203.35	83.42	119.93	173.46	256.89
4	アフガニスタン	12.50	104.47	9.26	126.23	—	—	—	126.23	126.23
5	シリア	—	72.17	3.98	76.15	—	—	—	76.15	76.15
6	[パレスチナ]	2.72	52.91	6.36	62.00	—	—	—	62.00	62.00
7	モロッコ	6.93	1.28	3.35	11.57	49.53	90.93	-41.41	-29.84	61.09
8	チュニジア	7.81	1.75	3.34	12.90	46.58	82.57	-35.99	-23.10	59.47
9	トルコ	0.68	13.78	1.30	15.75	34.43	175.50	-141.08	-125.32	50.18
10	イエメン	—	47.54	0.21	47.75	—	—	—	47.75	47.75
11	レバノン	0.26	24.25	0.29	24.80	—	6.52	-6.52	18.28	24.80
12	イラン	—	11.12	4.09	15.21	—	3.79	-3.79	11.42	15.21
13	リビア	—	9.47	0.02	9.49	—	—	—	9.49	9.49
14	アルジェリア	0.05	1.46	0.15	1.65	—	0.75	-0.75	0.90	1.65
	中東・北アフリカの 複数国向け*6	3.90	7.64	0.25	11.80	0.80	0.04	0.76	12.56	12.59
	<b>サブサハラ・アフリカ 地域合計</b>	<b>425.88</b>	<b>303.51</b>	<b>235.31</b>	<b>964.70</b>	<b>373.70</b>	<b>131.15</b>	<b>242.55</b>	<b>1,207.24</b>	<b>1,338.39</b>
1	ケニア	10.95	19.68	40.48	71.11	150.61	82.63	67.99	139.10	221.72
2	エチオピア	24.17	39.14	11.92	75.23	—	—	—	75.23	75.23
3	モザンビーク	18.12	8.48	10.32	36.91	35.81	1.40	34.41	71.32	72.72
4	コートジボワール	18.20	7.01	5.97	31.18	34.33	—	34.33	65.51	65.51
5	マダガスカル	13.93	2.73	7.64	24.30	40.16	—	40.16	64.46	64.46
6	ルワンダ	12.28	3.82	7.43	23.53	32.48	—	32.48	56.01	56.01
7	タンザニア	21.56	6.38	12.72	40.67	14.52	3.37	11.15	51.82	55.18
8	ブルキナファソ	30.25	9.49	3.69	43.42	9.78	—	9.78	53.20	53.20
9	ガーナ	32.01	3.85	13.90	49.75	1.57	—	1.57	51.32	51.32
10	コンゴ民主共和国	20.79	18.18	6.72	45.69	—	—	—	45.69	45.69
11	ウガンダ	11.85	4.09	11.10	27.03	16.98	1.61	15.38	42.41	44.01
12	セネガル	22.55	2.85	11.74	37.14	3.00	0.14	2.86	40.00	40.14
13	ジンバブエ	14.59	16.21	1.89	32.69	—	—	—	32.69	32.69
14	マラウイ	20.23	2.32	5.67	28.22	—	—	—	28.22	28.22
15	カメルーン	4.34	6.55	3.57	14.47	11.05	0.63	10.42	24.89	25.52
16	南スーダン	9.11	10.11	3.12	22.34	—	—	—	22.34	22.34
17	リベリア	19.66	0.27	2.03	21.96	—	—	—	21.96	21.96
18	ザンビア	6.18	1.00	10.00	17.18	3.83	0.85	2.98	20.16	21.00
19	ベナン	13.48	0.14	4.79	18.41	—	—	—	18.41	18.41
20	ソマリア	4.94	10.95	1.89	17.77	—	—	—	17.77	17.77
21	スーダン	0.59	10.63	5.63	16.86	—	—	—	16.86	16.86
22	モーリシャス	3.78	—	1.43	5.21	9.07	2.47	6.60	11.81	14.28
23	ジブチ	7.63	1.94	4.34	13.92	—	—	—	13.92	13.92
24	ナイジェリア	1.03	8.39	4.11	13.54	—	5.34	-5.34	8.20	13.54
25	ボツワナ	4.29	0.18	2.63	7.10	6.31	6.79	-0.48	6.62	13.41
26	ギニア	10.04	1.63	1.29	12.96	—	—	—	12.96	12.96
27	シエラレオネ	3.84	5.26	2.90	12.00	—	—	—	12.00	12.00

順位	援助形態 国名 または地域名	二国間政府開発援助								
		贈 与			計	政府貸付等		(A) - (B)	合計 (支出純額)	合計 (支出総額)
		無償資金 協力	国際機関 経由	技術協力		貸付実行額 (A)	回収額 (B)			
28	モーリタニア	8.99	2.28	0.43	11.71	-	-	-	11.71	11.71
29	ニジェール	7.90	1.25	2.04	11.18	-	-	-	11.18	11.18
30	中央アフリカ	-	10.79	0.05	10.84	-	-	-	10.84	10.84
31	南アフリカ	0.83	3.68	5.27	9.78	-	0.88	-0.88	8.90	9.78
32	マリ	5.80	2.36	0.71	8.88	-	-	-	8.88	8.88
33	チャド	2.81	4.64	0.10	7.55	-	-	-	7.55	7.55
34	アンゴラ	2.48	1.50	3.28	7.27	-	-	-	7.27	7.27
35	エスワティニ	4.28	2.47	0.23	6.98	-	1.89	-1.89	5.09	6.98
36	トーゴ	3.07	1.85	0.93	5.85	-	-	-	5.85	5.85
37	コモロ	4.78	0.81	0.11	5.70	-	-	-	5.70	5.70
38	ブルンジ	3.44	1.35	0.88	5.66	-	-	-	5.66	5.66
39	ギニアビサウ	-	5.27	0.05	5.32	-	-	-	5.32	5.32
40	コンゴ共和国	1.96	1.92	0.35	4.22	-	-	-	4.22	4.22
41	レソト	1.06	2.59	0.45	4.09	-	-	-	4.09	4.09
42	ガンビア	2.40	0.33	0.39	3.12	-	-	-	3.12	3.12
43	サントメ・プリンシペ	3.00	-	0.04	3.04	-	-	-	3.04	3.04
44	ナミビア	0.42	0.93	1.31	2.66	-	8.79	-8.79	-6.14	2.66
45	カーボベルデ	0.09	-	0.03	0.12	2.27	0.64	1.63	1.76	2.39
46	ガボン	0.27	0.14	1.87	2.28	-	-	-	2.28	2.28
47	エリトリア	1.40	0.50	0.17	2.08	-	-	-	2.08	2.08
48	赤道ギニア	-	-	0.08	0.08	-	-	-	0.08	0.08
	サブサハラ・アフリカ の複数国向け*7	2.07	57.58	17.54	77.20	1.92	13.72	-11.81	65.39	79.11
	複数地域にまたがる 援助等	112.14	758.58	1,492.56	2,363.27	1.48	-	1.48	2,364.76	2,364.76
	合計	1,290.78	1,792.62	2,405.36	5,488.76	11,420.03	6,692.46	4,727.57	10,216.34	16,908.80

(注)

- ・順位は支出総額の多い順。
- ・四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。
- ・[-] は、実績が全くないことを示す。
- ・ここでいう「無償資金協力」とは、日本が実施している援助形態としての無償資金協力のうち、債務救済および国際機関経由の無償資金協力を除くものである。
- ・複数国向け援助とは、調査団の派遣やセミナー等、複数の国にまたがる援助を含む。
- ・複数地域にまたがる援助等には、複数地域にまたがる調査団の派遣等、地域分類が不可能なものを含む。
- ・国名はDAC 援助受取国。ただし、合計は卒業国向け援助を含む。
- ・マイナスは貸付などの回収額が供与額を上回ったことを示す。
- ・[ ] は地域名を示す。
- \* 1 (ASEAN合計) は、インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオスを対象とした援助額の合計。
- \* 2 「東アジアの複数国向け」の実績には、DACの基準に基づく数値を使用しているため、ミャンマーを含む複数国向けの実績が含まれていない。
- \* 3 「南西アジアの複数国向け」の実績には、DACの基準に基づく数値を使用しているため、アフガニスタンを含む複数国向け、およびミャンマーを含む複数国向けの実績が含まれている。
- \* 4 「アジアの複数国向け」の実績には、DACの基準に基づく数値を使用しているため、一部の中東地域を含む複数国向けの実績が含まれている。
- \* 5 「欧州の複数国向け」の実績には、DACの基準に基づく数値を使用しているため、トルコを含む複数国向けの実績が含まれている。
- \* 6 「中東・北アフリカの複数国向け」の実績には、DACの基準に基づく数値を使用しているため、アフガニスタンを含む複数国向け、トルコを含む複数国向け、および北アフリカとサブサハラ・アフリカにまたがる複数国向けの実績が含まれていない。
- \* 7 「サブサハラ・アフリカの複数国向け」の実績には、DACの基準に基づく数値を使用しているため、一部北アフリカおよびサブサハラ・アフリカにまたがる複数国向けの実績が含まれている。